

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	市民文化の創造		
	施策	1	文化振興		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 文化遺産や地域資源を市民共有の財産として大切に保護し、次世代に継承します。
- 名張らしさあふれる魅力ある市民文化を育み、豊かな心と文化の息づくまちを目指します。
- 多様な文化資源を活用して、郷土に誇りと愛着が感じられるふるさとづくりを創造します。

2. 令和2年度の実績内容及びその成果



- ・ 郷土資料館では、常設展示に加え、企画展を2回開催、館外においても地域に出向き、名張の歴史や文化等の魅力の発信に努めました。また、文化財指定・登録においては、市指定有形文化財(工芸品)の指定(1件)を行い、県指定文化財・杉谷神社本殿の保存・修理事業を継続し、市指定有形文化財・丈六寺石造五輪塔の保存・修理事業を行いました。
- ・ 能楽のふるさとづくりを推進し、観阿弥祭等を開催することで、より一層の能楽振興と次世代への継承などを図るための活動の場の提供に取り組みました。令和2年度は、『名張市民文化祭』が50回目を迎えたことから、記念事業として『名張能楽祭』を開催しました。名張子ども狂言の会の指導者で大蔵流狂言師 茂山宗彦先生による講演と狂言公演を行い、名張市の能楽振興に対する取組と、名張子ども狂言の会の活動や成果を広く市民に報告できました。また、古典芸能に携わる子どもたちが練習を重ねていた『名張子ども伝統芸能祭り』を3月6日に開催し、練習の成果を披露しました。
- ・ 市美術展覧会や市民文化祭の開催を通して、芸術文化活動の発表の場の提供や文化に親しむ場を提供し、市民の芸術文化を育みました。
- ・ a d s ホールの利用状況は、新型コロナウイルスの影響でキャンセルが続き、利用料収入と利用実績が低迷した結果となりました。設備についてはホールの換気設備の点検・清掃を行い、感染防止対策を図りました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
市民による自主的な文化芸術活動が活発に行われていることで、身近に文化や芸術に接する機会があると感じている市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	47.0	0.0%
	成果	44.0	42.7	40.0	37.8			
青少年センター、名張藤堂家邸跡、夏見廃寺展示館、郷土資料館の入場利用者数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	568,000	46.6%
	成果	367,771	409,317	446,400	461,123			
美術展覧会出展数【延べ数】(点)	目標	-	-	-	-	-	2,975	56.8%
	成果	2,012	2,215	2,384	2,559			

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・ 文化資源の活用面については、一般市民はもとより小中学校の学習に応じられるよう効果的な企画展示等を実施する必要があります。
- ・ 観阿弥顕彰会の会員が減り、普及活動を行うとともに能楽振興を図る必要があります。また、市制施行70周年の際には、『名張新能』を記念事業として開催し、定期的に能楽鑑賞の機会を提供することで、【観阿弥創座の地名張】としての取組状況を広く告知し、定着させることが重要です。
- ・ 新型コロナウイルスの影響による制限は受けるが、a d s ホールの充実した施設をたくさんの方々にご利用いただくとともに、いろいろなジャンルの事業を計画し、文化振興の拠点として事業展開を進めます。

5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和3年度以降)



- ・ 郷土資料館の年間来館者数は例年2800人程度の状況ですが、令和2年度は臨時休館やコロナ禍の影響もあり約1500人の入館者数となりました。今後、教育センターとの連携を強化し、来館される子どもたちの学習に活かせるように、郷土資料館の展示等について検討、また、一般市民の方に対しても展示の充実、広報の強化等を行い、文化資源が活用されるよう努めます。
- ・ 観阿弥顕彰会、美旗まちづくり協議会や地元と協力し、『観阿弥祭』を開催します。能楽のふるさとづくりを推進するとともに、関係者との交流を図ることで、能楽振興と次世代への継承に努めます。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、『三重の能楽まつり』が中止となりましたが、令和3年度には【観阿弥創座の地名張】での事業開催を盛り上げます。『名張子ども伝統芸能祭り』を開催し、日頃の練習の成果を披露するとともに、同じように古典芸能に取り組んでいる団体とも交流することで、ますます伝統文化に対する意識の向上を図ります。
- ・ 『市展』への高校生の出品も年々増えつつあり、作品出品を依頼するとともに、一般の方々の出展も促し、市民の芸術文化を育みます。
- ・ a d s ホールにおいては、利用にあたって感染防止を徹底するとともに、文化活動の発表の場を提供し、芸術文化の拠点として活気ある施設になるよう、文化向上に努めます。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	ふるさと能文化振興事業	教育委員会事務局	文化生涯学習室	能楽のふるさとづくりの実践のため、「観阿弥創座の地」を情報発信するイベントの開催や、子ども狂言の会への支援・協力を行いました。 岡田文化財団の助成を受け、『名張子ども伝統芸能祭り』を開催。名張市内の古典芸能を学ぶ子どもたちが一堂に会し、1年間の練習の成果を発表しました。	2,135	482	2,409	2,209
一般	オオサンショウウオ緊急調査事業	教育委員会事務局	文化生涯学習室	滝川流域で生息するオオサンショウウオの個別識別DNA調査を実施し、交雑種のブール飼育を継続しました。 (令和2年度実績) ・オオサンショウウオ生息調査指導委員会開催(年2回) ・緊急生息調査委託 保護飼育(交雑種ブール飼育・一時保護)、調査・DNA解析業務	2,172	934	2,523	1,086